

No	Training Title	English	日本語説明
1	Security Risk Management (SRM) Training セキュリティ・リスク管理研修	The aim of this course is to introduce managers of humanitarian and development programs in insecure areas to the techniques and tools of managing risk. Emphasis is placed on three principle areas of concern: security risk assessment, security plans and planning, and critical incident management. Courses are often approximately 40 hours and can be done in course or on-line.	このコースの目的は、治安が不安定な地域における人道及び開発事業の管理者（マネージャー）に、リスク管理のテクニックと手法を紹介することである。重点が置かれるのは、このような場合に重要な3つの分野、すなわちセキュリティ・リスク・アセスメント、セキュリティの計画と計画作り、そして危機的事態の管理である。コースは通常40時間ほどで、実際の講義の他、オンラインでも用意されている。
2	Personal / Field Security Training パーソナルフィールド・セキュリティ研修	This course is designed to prepare individuals for travel and work in challenging environments. think Participants review their immediate threats and hazards, and learn skills, procedures and knowledge to stay safer. Objectives: To analyse the current threats, focusing on the main security concerns of staff in the field, and how to address these. To develop a practical understanding of the safety and security environment, and how to develop and establish a culture of safety and security awareness in your organisation. To become aware of and understand personal, organisational and community roles in safety and security.	このコースは、各個人が安全対策上困難な状況の地域に、渡航して働くための準備ができるよう、構成されている。参加者は、自分に差し迫った脅威や危険要因を見直し、より安全にいられるために必要なスキルと手順、知識を学ぶ。 目的： ・フィールドにいるスタッフのセキュリティに関する主要な関心事と、それにどのように対処すべきかを中心に、現状の脅威を分析する。 ・（平時の）安全とセキュリティに関する環境整備、特に所属団体にどのように安全とセキュリティへの意識が高い文化を形成して確立するのか、実務的な理解を深める。 ・安全とセキュリティに関する個人、団体、コミュニティそれぞれの役割について、違いを認識して理解する。
3	Hostile Environment Awareness Training (H.E.A.T) 敵対的環境への適応研修	Enables you to survive critical situations and to take care of your own safety in high-risk areas. The course provides participants with knowledge and skills to lower the potential risks and cope with threats, injuries, hostage takings, terrorist attacks, armed conflict and more. Organisations, groups and individuals who wish to conduct business or travel in complex, hostile or remote areas face risks on a daily basis, many of which can be life threatening. These risks can have a detrimental impact on reputation, programmes and most importantly personal security. Courses are often 4-5 days and include theory, practical skills and simulations. Essential for those visiting areas that even though an armed conflict may have not yet occurred or hostilities have ceased, there may be periods of unrest caused by uncontrolled elements making use of the current unstable situation in the host country or the settlement of the conflict	危機的な状況において生き残り、危険度の高い地域で自分自身の安全を確保できるようにする。このコースにより参加者は、潜在的なリスクを軽減し、脅迫、負傷、人質、テロ攻撃、武力紛争等に対処できるだけの知識とスキルを身につけることができる。情勢が複雑化した、敵対的な、あるいは遠隔の地域でビジネスを行い、渡航する団体、グループ、個人は、日常的にリスクに直面しており、それらの多くは命に関わるものである。これらリスクによって、自らの評判やプログラム、また最も重要なこととして自分のセキュリティに、深刻な悪影響が生じることもあり得る。コースは通常4-5日間で、理論と実践的なスキル、シミュレーションからなる。例えば武力紛争がまだ発生していなかったり、敵対的行為が止んでいる地域を訪れる人々にも、現状のホスト国や紛争調停が不安定な場合、不確定要素によって一時治安が悪化することもあり得ることを考えると、欠かせないものである。
4	Crisis Management 危機管理	intended to familiarise mid/senior level humanitarian aid workers with the theoretical and practical aspects of crisis management and enable them to respond to crisis as a team. The aim of this course will be to provide a framework for senior staff to manage various crisis situations and incidents affecting the organization.  Participants will gain better knowledge about the application of crisis management mechanisms and start developing better strategic response in terms of team structure, roles, steps and decision making in humanitarian organizations. They will also gain the knowledge and skills on how their organizations can interact with other agencies during crisis and understand how these structures may be utilized by the organization.	中堅/管理職レベルの人道支援関係職員が、危機管理の理論と実践的側面に習熟し、チームとして危機に対応できるようにすることを目指す。このコースの目的は、管理職スタッフに、様々な危機において状況や事態を管理するための枠組みを提示することにある。  参加者は、危機管理メカニズムを実践に応用するために必要な知識を増やし、人道支援機関におけるチーム構成、役割、手順、意思決定について、以前よりも戦略的な対応法を立案できるようになる。さらに所属する団体が、危機に際してどのように他の機関と協調して動くのか、またこれらの協調体制を団体としてどう活用できるのか、知識とスキルを身につけることができる。
Courses offered by eCentre / eCentreが提供する研修			
1	eCentre Security Risk Management		<b>Security Risk Management:</b> 安全・危機管理対策(eCentreの)安全・危機管理研修では、責任者が事業実施・継続の必要性と職員の安全とのバランスを分析するための技術を紹介する。脅威と危険性の査定、危機管理計画と計画立案、重大事故の管理法などに焦点を当て、責任者が系統的に危険の判断と軽減する方法を学ぶ。参加型の研修を通して、責任者に事例や実際の経験をもとに作成された模擬訓練を通して技術の習得を目指す。安全・危機管理研修では主に以下の科目を扱う: 人道援助を取り巻く安全環境の理解、責任者の責任と安全管理に対する説明責任への理解、脅威・脆弱性と危機を査定する技術、安全計画と計画立案、重大事故の管理、安全性向上のためのパートナーシップ、情報管理と報告・メディア対応、自己と同僚のストレス管理など。
2	eCentre Safety in the Field		<b>Safety in the Field:</b> 現場での安全確保(eCentreの)現場での安全確保訓練では、現場で働く人道支援関係者が直面する様々な危険に、どのように対応するか、実際の経験をもとに作成されたシミュレーションを通して習得するようにデザインされている。訓練は、情勢不安定な現場での活動によって直面する問題に対応するための、能力向上、意識の改善と自信を身につけることを目的としている。(eCentreの訓練ではタイ軍の協力を得て、現場で直面する様々な状況を体験できるシミュレーションを実施している。)現場での安全確保訓練で扱う主要な科目は以下の通り: 人道支援を取り巻く安全環境の理解、不安定な状況下での外出と業務の準備、無線機器の使用方法和通話の仕方、地図の読み方とGPSの使い方、統制のきかない群集への対処、武器と地雷に関する知識、人質になった際に生き残るための技術、女性に対する特別な安全上の問題、ストレス管理など。
Online Course by UNDSS / UNDSSのオンライン研修			

1	Basic Security in the Field / Advanced Security in the Field	<b>Basic Security in the Field / Advanced Security in the Field:</b> 現場における安全(基礎編・上級編)国連の安全保安局(UN Department of Safety and Security)によって作成された、国連の安全管理システム (UN Security Management System)の対象となる国連職員、家族および関係者向けのオンライン研修。この研修を通して、国連の安全管理システム、赴任や移動中・生活や職場における危険の認識と安全確保、健康やストレス管理、危険な状況下における叱咤の判断、実際の危機・脅威・負傷における対応、実際に被害にあった際の心理的影響と相談先に関する情報などが学べる。全ての職員に履修義務がある基礎編と、現場に派遣される職員用の上級編がある。
---	--	---